

寺井尚子

【ヴァイオリン】



“Message”

1988年のプロデビュー以来30年以上ジャズシーンの第一線を走り続ける寺井尚子がミューズに登場！ジャズとの出会いや今回のコンサートへの想いなどを伺った。

音楽を始めた幼少期 クラシックからジャズへ転向

家のステレオからはいつも、クラシック音楽が流れていて、ほとんどがヴァイオリンコンチェルトでした。自然と音楽に触れ、最初に認識した楽器の音色もヴァイオリンでしたし、お腹の中にいる時から聴いていたのですから母の影響は絶大です。3歳の時、絵本と定規でヴァイオリンを弾く真似をしていたそうで、私に「ヴァイオリンを習ってほしい」という母の願いと共に、4歳からヴァイオリンのお稽古をスタートしました。

6歳から本格的な先生に指導していただき、学校から帰ると晩ご飯までは練習、という日々を送っていました。その後14歳の時に腱鞘炎にかかり、先生のレッスンを休むことに。これまでは「次に取り組む課題曲を何人かのアーティストの演奏を聴いて勉強する」といった音楽の聴き方でしたが、時間的にも余裕ができたことで、あらゆる音楽を楽しんでみようということに変わっていききました。

他のジャンルの知識はなかったのですが、ジャケ買いや何かきっかけがあればすぐ聴くという感じで、さまざまなジャンルに触れていきました。その中で初めて手にしたジャズのアルバムに魅了され、衝撃を受け、頭の中に「自分が自由自在に演奏しているような映像」がイメージとして膨らみ、これを形にしたいと思うようになり、「ヴァイオリンでやってみよう」と歩き出しました。

プロデビューから、修行の10年間

1988年にデビューし、CDデビューまでの10年間は私にとって修行の毎日でした。積極的にライブやステージをこなす生活をしており、辛かったというよりも学ぶことが多かったですし、何事にもトライしていた日々でした。今思えば私にとってこの修行時代で得たことは大

リテイに向かって毎回トライし、それを叶えるための日常を送っていく。これからも変わることはないと思います。

ニューヨークなお家時間の過ごし方

切な宝物です。なかでも、あるセッションをきっかけにケニー・バロン「ピアノ」さんとの出会いがあり、ケニーさんのリーダーアルバムのレコーディングに参加することとなりました。単身での初ニューヨーク、初レコーディングはあらゆる事が新鮮でエネルギーッシュで、超一流の世界を観ることができた貴重な時間でした。レコーディングが終わわり、ホテルに向かう車の中で対岸に広がるニューヨークの夜景（スタジオはブルックリン）を見ながら、「信じてきた道は間違ってたなかった」と小さくガッツポーズ。この時の経験からたくさんのエネルギーをいただき、多くのことを学びました。それは、今も私の中に生き続けています。

2018年にプロデビュー30周年

後ろを振り返らず、とにかく走り続けてきた感じですが。何より一回一回のステージが大切であり、私たちのエネルギーが客席に伝わり、皆様からもエネルギーをいただく、この相乗効果が素晴らしい、共にステージを創っていききたいと常に思っています。そして自分の求めるクオ

世界申が思いも寄らない事態となり、コンサートも中止や延期が相次ぎました。この間、生活自体が変わってしまい、絶望感と何とか希望を見つけない気持ちとが交互に自分の中に居座り、気がつけば疲れ切っていました。何か少しでも楽しいことはないだろうか？と、おうちごはんを楽しくしよう、企画が始まりました。煮込み用のお鍋を購入し、料理本も見ながらのスタート、以前美味しいお店で教えてもらったちよつとしたアドバイスも役に立ちました。お料理のポイントも、簡単に美味しく。これが結構難題なのですが、これからはますますはまりそうです。

「Message」 今回のコンサートへの想い

この2年あまり、誰も予測のできない時間を過ごすなか、

してあります。

寺井尚子コンサート2022 “Message”
 2022年3月5日(土) 16:15開場 17:00開演
 マーキーホール **好評発売中**

料金◆全席指定 ¥5,000
メンバーズ特割 ¥4,000

出演◆北島直樹 [ピアノ]
 仲石裕介 [ベース]
 荒山 諒 [ドラム]

曲目◆トゥーランドット、プエノスアイレスの冬、
 スペイン ほか

※未就学児の入場はご遠慮ください。
 ※新型コロナウイルスの感染状況により、公演中止の可能性がございます。
 最新情報は所沢ミュージズ公式ホームページでご確認ください。



ヴァイオリンを習いはじめた幼少期。「ヴァイオリンを買って欲しい」との母の願いと共に4歳からお稽古をスタート



ジャズの巨匠ケニー・バロン「ピアノ」さんのレコーディングに参加ニューヨークでの収録は飛躍の大きなきっかけとなった



「おうち時間を楽しく！」とお料理にも挑戦。ポルシチ風ディナーとスモークサーモンのサラダ



最新アルバム「フロリッシュ」。信頼できるミュージシャンたちと収録したドラマティックで色彩的な自信作